

ストップ!ザ ハッ場ダム

ニュース 群馬(27)

ハッ場ダムをストップさせる群馬の会

代表 浦野 稔 事務局長 鈴木 庸

TEL 027-224-8567 FAX 027-224-6624

総会兼報告集会のお知らせ

日 時 6月25日(土) 午後1時30分～3時30分

場 所 群馬県庁昭和庁舎3階 35会議室

◇総会 午後1時30分～2時

1. 活動経過報告 2. 会計報告 3. 役員改選 4. 今期活動方針 など

◇報告と話し合い 2時～3時30分

報告 ハッ場あしたの会 渡辺洋子事務局長 「ハッ場ダムの現状と問題点」

※その後話し合い

控訴審での群馬・第3回進行協議が行われます。

平成23年7月7日(木)午後2時30分 東京高裁11民事部(東京の霞ヶ関)

応援に駆けつけてください。

参加できる方は、鈴木庸までご連絡ください。

電話 027-224-8567 携帯電話 090-9134-2942 FAX 027-224-8567

会費納入と寄附のお願い

ハッ場ダムをストップさせる群馬の会は皆さんの会費と寄附により活動しております。

ご協力お願いいたします。振込先は下記のとおりです。

(振込先) 郵便振替口座 00150-2-356373 (加入者名) 鈴木 庸

裁判の現状

平成21年	5月11日	(東京事件)	東京地裁で判決。
★平成21年	6月26日	(群馬事件)	前橋地裁で判決。
平成21年	6月30日	(茨城事件)	水戸地裁で判決。
平成21年	9月16日	(東京事件)	東京高裁で第1回進行協議。
平成21年	12月25日	(東京事件)	東京高裁で第2回進行協議。
平成22年	1月19日	(千葉事件)	千葉地裁で判決。
平成22年	4月15日	(茨城事件)	東京高裁で第1回進行協議。
平成22年	4月16日	(東京事件)	東京高裁で第3回進行協議。
平成22年	7月9日	(千葉事件)	東京高裁で第1回進行協議。
平成22年	7月14日	(埼玉事件)	さいたま地裁で判決。
平成22年	9月9日	(茨城事件)	東京高裁で第2回進行協議。
平成22年	9月10日	(東京事件)	東京高裁で第4回進行協議。
平成22年	9月21日	(千葉事件)	東京高裁で第2回進行協議。
★平成22年	10月15日	(群馬事件)	東京高裁で第1回進行協議。
平成22年	12月17日	(東京事件)	東京高裁で第5回進行協議。
平成23年	2月1日	(茨城事件)	東京高裁で第3回進行協議。
平成23年	2月2日	(千葉事件)	東京高裁で第3回進行協議。
★平成23年	3月11日	(群馬事件)	東京高裁で第2回進行協議。
平成23年	3月24日	(栃木事件)	宇都宮地裁で判決。
平成23年	3月28日	(埼玉事件)	東京高裁で第1回進行協議。
平成23年	4月27日	(東京事件)	東京高裁で第6回進行協議。
平成23年	5月19日	(茨城事件)	東京高裁で第4回進行協議。
平成23年	6月16日	(埼玉事件)	東京高裁で第2回進行協議(予定)。
平成23年	6月22日	(千葉事件)	東京高裁で第4回進行協議(予定)。
★平成23年	7月7日	(群馬事件)	東京高裁で第3回進行協議(予定)。
平成23年	9月30日	(東京事件)	東京高裁で第7回進行協議(予定)。
平成23年	10月13日	(茨城事件)	東京高裁で第5回進行協議(予定)。

★：群馬事件関連。

各事件とも、東京高裁における進行協議において、控訴理由書や準備書面等を提出しており(相手方からの書面提出はこれからです。)、群馬事件においても、上流堤防の現地調査及び治水有識者会議の資料、複数の学者意見書の提出等々による控訴理由書、準備書面の提出を行い、また今後も行いう予定です。

具体的には、①基本高水を検証している有識者会議(学会会議)の最終まとめが7月末になされる予定であるため、これを踏まえた主張立証を補充する、②流域分割図等の情報公開請求訴訟が5月に結審し、8月2日判決の予定であり、情報入手ができれば、主張立証を補充するなどの予定です。

以上

「八ッ場ダム問題の経過報告」

- 2011年2月6日 大畠国交大臣が衆議院予算委員会で「八ッ場ダム建設工事再開の場合、完成は3年遅れの2018年になる見通し」と発言。
- 2月7日 国交省関東地方整備局が八ッ場ダムの必要性を検討する「関係地方公共団体からなる検討の場」第四回幹事会開催
- 2月13日 大畠国交大臣現地視察
- 2月18日 ○八ッ場ダム問題について・ミニ学習会（沼田市ごったく広場）
○利根川の基本高水流量を検証する日本学術会議第二回分科会開催
- 3月1日 ○ニュース群馬 26号発行
国交大臣の諮問機関「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」の第13回会議 開催
- 3月11日 群馬・東京高裁第2回進行協議・・・控訴人側出席者[控訴人（原告4名）、訴訟代理人（弁護士）3名、傍聴人2名]、控訴人側としては、治水、利水についての2～3の準備書面を今後提出予定、終了直後、大震災に遭遇し、出席者のほとんどが帰宅難民となる
次回進行協議 7月7日(木)午後2時30分
- 3月24日 栃木・宇都宮地裁判決(八ッ場ダム、南摩ダム、湯西川ダム)・・・住民側敗訴、原告控訴方針
- 3月28日 日本学術会議第三回分科会開催
- 3月29日 日本学術会議第四回分科会開催(大熊孝氏、関良基氏ら専門家のヒヤリング)
- 4月1日 日本学術会議第五回分科会開催
- 4月26日 ○八ッ場ダムを考える群馬連絡会(八ッ場ダムをストップさせる群馬の会 八ッ場あしたの会、群馬県議会議員の会、日本共産党、県教組、国労などで構成) 4月定例会開催
○水源開発問題全国連絡会(八ッ場ダムをストップさせる群馬の会を含む108団体連名)は『国交大臣の諮問機関「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」の完全公開を求める要望書』を国交大臣、有識者会議座長宛に要望書を提出
○日本学術会議第六回分科会開催
- 5月11日 日本学術会議第七回分科会開催
- 5月15日 八ッ場あしたの会主催 八ッ場ダム予定地現地見学会開催
- 5月23日 八ッ場ダムを考える群馬連絡会 5月定例会開催
- 5月24日 国交省関東地方整備局の「関係地方公共団体からなる検討の場」第五回幹事会開催
- 5月31日 八ッ場あしたの会は群馬県知事選挙候補者4名（7月3日投票日）に公開アンケートを送付した[6月12日(日)八ッ場あしたの会の集会(前橋)で公表予定]
- 6月1日 日本学術会議第八回分科会開催

八ッ場ダム現地見学会に参加して

浦野 稔

新緑がすがすがしい5月15日に八ッ場あしたの会主催の八ッ場ダム予定地見学会に参加しました。最初に、川原湯温泉街の温泉街アーケード付近で着々と工事が進んでいる湖面1号橋現場を見学、川原畑地区代替地と川原湯地区打越代替地を結ぶ橋である。景観を台無しにし、税金(総工費52億円)が浪費されている。ダムサイト予定地を見た後、付け替え国道雁ヶ沢ランプから昨年9月と11月に落石事故のあった付け替え国道を見た。切土斜面に埋め込まれたアンカーボルトの周りから赤茶けた錆が噴き出ているのが至る所に見られた。再三地すべりを起こしている斜面では地肌が出たままで、工事が難航しているように見える。付け替え国道の交通量が増えている状況で、落石や地すべりの危険性を常にはらんでいる。

次に川原畑地区代替地(諏訪神社、三ッ堂)をみて、丸岩大橋(湖面3号橋)を通過していた時、カモシカ1頭が近くの電柱の下で行き場に迷っている様子がバスの中から見えた。次に、長野原取水堰を見学。薄緑色の水がここから導水管を通過して東電の下流の6つの水力発電所に送られて発電に使われている。次に付け替え県道を通って、十字架の様な姿がマスコミで報道され話題になって、4月25日に開通した不動大橋(湖面2号橋)を渡った。現在、この地点が観光スポットになっている。以前は下の遊歩道をしばらく歩いて、不動の滝がみられたが、今は橋のたもとから滝を見ることができるようになったためである。川原湯地区の一部が未買収で町道を暫定的に利用するため、道が狭く、大型車は通行できない。

次に、川原湯温泉新駅予定地に着いた。周辺の土地の一部に共有地があったり、買収が難航している土地があるとのこと。また、駅舎ができると思われる周辺にはコンクリートの土留め工事が行われていた。地元住民が地すべりの危険性を指摘する所に新駅を作っているのだろうか、大いに疑問を感じる。川原湯・上湯原代替地を經由して、最後は国道145号を東吾妻町へ下り、松谷発電所の手前を左折しバスを降りて、東電の鍛冶屋沢ダムへ新緑の山道の中をしばらく登った。まもなくして、鉄条網に囲まれた鍛冶屋沢ダムにたどり着いた。取水堰から導水管を通ってきた水がいきおい良くダムに流れ込んでいた。この大量の水はさらに導水管を通して、松谷発電所から原町発電所などへと順繰りに発電用水として使われて、利根川に合流する。見学会での印象は至る所に地すべりの危険性が存在していることを再認識できたことです。

ハツ場ダム集会のお知らせ

—群馬県知事選を前にして—

このまま進めていいのか 危険なハツ場ダム計画

東日本大震災は甚大な被害をもたらし、社会に大きな変化を引き起こしつつありますが、ハツ場ダムの予定地では震災後も粛々と関連工事が続いています。今回の震災では、各地で盛土造成地の地すべり、橋脚の被害が発生し、老朽ダムの決壊による死者も出ました。地質のもろい悪条件下で、地形を無視して進められているハツ場ダム事業は、本当に大丈夫なのでしょうか？

日時：2011年6月12日(日) 午後1時半より

開場：午後1時 終了予定：午後4時

会場：群馬県庁昭和庁舎3階 35会議室

群馬県前橋市大手町1-1-1

＝プログラム＝

第一部

- 問題提起 混迷するハツ場ダム問題
嶋津暉之(水問題研究者・ハツ場あしたの会運営委員)
- 基調講演 「ダム事業の検証」
講師 五十嵐敬喜氏(法政大学教授・弁護士)
- 報告 群馬県知事選各候補者への公開質問書の回答公表

第二部

- 「水力発電量を減少させるハツ場ダム計画」…伊藤祐司群馬県議
- 「安全な地下水を飲み続けたい」…小川晶群馬県議
- 「ハツ場ダムの危険性」…渡辺洋子(ハツ場あしたの会事務局長)

資料代：500円

交通アクセス：

湘南新宿ライン新宿発 10:12 高崎着 11:56
同毛線「小山」行き 高崎発 12:06 前橋着 12:19
JR前橋駅より「県庁」行きバスに乗り換え 6~8分



主催：ハツ場あしたの会

群馬事務局：〒371-0844 群馬県前橋市古市町419-23 (渡辺)

電話・ファックス 027-253-6706 携帯：090-4612-7073 メール：info@yamba-net.org

ハツ場ダムを考える1都5県議会議員の会

事務局：〒370-2132 群馬県高崎市吉井町吉井547-3 サトカンビル(角倉邦良事務所)

電話 027-387-1432 ファックス 027-387-1433

